



桐

K I R I

目黒学院高等学校同窓会事務局
〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50
電話 03-3711-6556
編集発行人 会長職務代行 市川 康 憲
URL <http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>



平成28年度会務報告



同窓会会長職務代行

いち かわ やす のり
市 川 康 憲

(昭和42年 3月卒)

風薫る季節、あるいは衣替えの季節といわれる時期を迎えました。目黒学院高校同窓会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。加えて、同窓会に対する様々なご支援、ご協力に対し厚く御礼を申し上げます。

先ずは、この一年間の同窓会活動についてご報告をさせていただきますが、昨年から会長職務代行を仰せつかりました事から、感想を交えながら経過報告をさせていただきます。

まず、会務を推進していく上での永遠の課題である「信頼関係で結ばれた同窓会組織」をいかにすれば実現できるか、そして、さらに重要な要素は「永続性のある柔軟な運営体制」をどうすれば構築できるか、現在も現役員の皆さんと継続的に話し合っています。組織は人間の一生と同じである、という人がいます。人間は年々歳を重ねます、現在の同窓会を支えてくださっている先輩方には感謝の思いで一杯です。従って、伝統のある目黒学院高校同窓会を永遠足らしめるためには、母校愛に満ちた運営役員の若返りが最大のテーマである事は全役員の共通認識です。中国の諺に「水を飲むときは井戸を掘った人の事を忘れるな」という言葉があります。何方にも人生を振り返ってみた時、自分自身を変えるきっかけが必ず存在します。それは環境かもしれませんが、関係する人だったかもしれません。

私の場合は、縁あって目黒高校に入学し、そして素晴らしい担任の先生に出会えたことが、私の人生を大きく変える分岐点だったと歳を重ねるごとに思い起こされます。

この母校への感謝の思いは、現在の同窓会役員お一人お一人の心の中に強く刻まれております。勿論、全ての卒業生の皆さんも同じだと思います。従って、毎回の同窓会打ち合わせに参加することが困難でも結構ですので、是非とも一人でも多くの卒業生諸君の参画をお願いする次第です。

次に報告に入りますが、卒業式と入学式に今年初めて出席させていただきました。どちらも規律正しく凛とした雰囲気の中で進められ、言語、態度、動作を通じて一人一人の自立心と誇りを感じました。正に、目黒学院の「文武両道」という精神が垣間見られた場面でした。

卒業式後には、高校3年間を終えられたPTA主催の「謝恩会」並びに中学・高校の6年間を終えられた「卒業を祝う会」へ、同窓会から代表が出席させていただき、お祝いの言葉を述べさせていただきました。

本会への新会員は、去る3月10日の第69回卒業証書授与式が終了し、新たに259名が会員となられ会員総数では31,551名となりました。同窓会としては、卒業記念として259名の皆さんに思い出の写真が入られる「電波時計付きフォトスタンド」を贈らせていただきました。

次にお願ひになりますが、例年ご協力をいただいております同窓会賛助会費の納入につきましては、本年も多数の会員からのご賛同とご理解をいただき、同窓会を代表して心より御礼を申し上げます。この賛助会費は、同窓会運営にとどまらず、在校生への奨学金や、同好会・クラブ活動、梧林祭開催の支援などにも活用させていただいております。既に毎号の本誌にてご案内させていただいておりますが、一口1,000円（何口でも可）で全会員の皆さんを対象にご協力をお願いしております。本年6月から郵便送料も値上げとなったことから、本誌の送料も引き上げられております。本号にも、賛助会費の払込通知票を同封させていただきましたので、会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

おわりに、今後も一層の同窓会活動に対するご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、会員各位、在校生並びに理事長・校長先生を初め教職員の皆様方の益々のご健康と、母校の発展をお祈り申し上げ、挨拶並びに会務報告といたします。

SOWA
ARCHITECTS & ENGINEERS

歴史 を変えることはできない

しかし **歴史** に残すことはできる

一級建築士事務所

株式会社 **相和技術研究所** 顧問：市川康憲
(昭和42年卒業)

本 社 〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目18番1号
TEL 03(5740)6713番(直通) FAX 03(5740)6683番

<東北支社>

●仙台事務所
●青森事務所

<関東支社>

●千葉事務所 ●多摩事務所
●水戸事務所 ●神奈川事務所

<関西支社>

●大阪事務所
●和歌山事務所

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

せき ぐち たか し
関 口 隆 司

男女共学6年目となりました平成28年度は、おかげさまで大過なくすべての行事をとり行うことができました。今後も「明朗・勤勉・礼節」の校訓のもと、教育内容の充実に邁進する所存です。

本年4月の新入生は、中学生7名、高校生217名（一貫コース内部進学生を含む）となりました。中学生の新入生は全員男子ですが、高校生の新入生のうち女子は92名で昨年に次ぐ数となり、高校1年生は8学級中7学級が共学クラスです。何卒、卒業生の皆様におかれましては、引き続き「新生・目黒学院」へのご支援とご協力を賜りたいと願っております。

以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

1. 学校行事等

前述の通り、平成28年度の日黒学院では、すべての行事を予定通り実施することができました。体育祭・陸上記録会や梧林祭もまずまずの天候となり、昨年同様生徒は活発に活動しておりました。昨年参加することができなかった中目黒駅前商店街主催の「鳴子よさこい祭り」にも参加して好評を得、駒沢の体育館を借用して球技大会も実施することができました。また例年のように、相互交流の協定を締結している福島県飯館村の役場を11月に生徒会長とともに訪問し、菅野村長に対して義援金を手交いたしました。

2. 教職員の異動

専任教諭の栗原茂先生が定年退職されましたが、栗原先生は専任講師として引き続き教鞭をおとりいただいております。専任講師の杉坂幸雄先生、幡鎌孝彦先生が期間満了により退任されました。一方、常勤講師の日下虎太郎先生（数学）、前田洋平先生（英語）、坂元修平先生（情報）を専任教諭としてお迎えし、川野博子先生（保健体育）、鈴木麻里子先生（英語）を新たに常勤講師としてお迎えしました。

現在の専任教員数は70名（専任講師・常勤講師を含む）、専任職員数は11名（カウンセラーを含む）となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ラグビーフットボール部、空手道部、ゴルフ部、ソフトボール部でした。ラグビー部は、全国大会予選準決勝で惜敗しました。一方、空手道部は桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大会及び全国空手道選手権大会に出場し、3年生の関口徹昭君が全国空手道選手権大会男子個人組手で第3位となりました。また、ソフトボール部が東京都新人戦で優勝し、全国選抜大会に出場しました。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。女子が受験に向かったことにより、進路も以前に比べて多様化したいたしました。しかし生徒の大半が大学進学希望であることは変わらず、志望進路実現のために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の生徒を今後も育てていきたいと考えております。

5. その他

平成28年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、4名に対して授業料の全額免除を行いました。規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。

本年3月にトンガからの生徒を1名受け入れております。現在トンガ人の生徒は合計4名で、高校3年生が2名、1年生が1名、中学3年生が1名となっております。また、高校2年生にはタイ人が在籍しております。彼らは全員体育コースに進学し、ラグビーフットボール部に所属しております。それ以外にも外国籍を有する生徒が多数入学、ラグビーフットボール部に入部しており、国際色豊かな同部の4年振りの全国大会出場を切に祈念するものであります。



全国大会出場によせて

目黒学院高等学校ソフトボール部
顧問 川端政克

平成28年11月6日、目黒学院高等学校ソフトボール部は、目黒学院高等学校の歴史に新たな1ページを刻みました。

準決勝までコールド勝ちで進み、共栄学園との決勝に挑みました。序盤に6点を取り、そのまま楽に優勝できるか、とも思いましたが、やはり決勝戦は簡単に勝たしてくれません。6回に6点を取られ同点となり、選手達の緊張もピークを迎えました。しかし、これまで「東京NO.1」を合言葉に日々努力をし、合宿で厳しい練習に耐えてきた選手達は、最終回に素晴らしい粘りを見せ、1点をもぎとり7対6で勝利しました。

ついに念願の「東京NO.1」の座を勝ち取り、全国高等学校男子ソフトボール選抜大会への出場権を獲得したのです。勝った直後、選手たちはマウンドに全員で駆け寄り、勝利の雄叫びを上げました。監督の森田先生は、これまで苦勞して築き上げてきたチームの最高の場面に、サングラスの奥で大粒の涙を流していました。



喜んだのもつかの間、これからが苦勞の始まりでした。なにぶん初めてのことだらけ、私たち顧問も何をどう進めていいのかわかりません。校長先生から正則学園の先生に情報を聞いて頂いたり、他の学校から色々アドバイスを頂いて、なんとか目途を立てていきました。特に困ったのが、大会会場である福岡県北九州市の土地勘が全く無い、ということでした。

どのぐらい移動に時間がかかり、どれだけ練習時間を確保し試合に臨めるかがまったく計算できず、チームのコンディション作りには気を使いました。

そして3月16日、品川発の新幹線で小倉駅に到着し、17日に開会式に臨みました。そして翌18日に大会初日を迎えました。会場である「ひびきコスモス運動場」には、多くのチームが結集し、その広さと熱い戦いに遭遇し、選手達の緊張感が一気に増大しました。



我々、目黒学院高等学校ソフトボール部は、抽選により初戦は不戦勝、19日に岡山県代表の共生高等学校と対戦しました。全国の壁は厚く、共生高等学校の左のエースから繰り出されるライズボール（手で浮き上がってくるボール）に全く歯が立たず、またコンパクトに振ってくるバッターに連打を浴び、0対10（5回コールド）で敗れました。翌20日には交流試合として、鳥取県代表の米子松陰高等学校と試合を行い、この試合は10対3で勝つことができました。

初めて挑んだ全国の檜舞台で、選手たちは多くの経験を積みました。それは、全国の強豪チームと渡り合えるようになるには、より一層戦術を学び、一層の努力を重ねなければならない、ということでした。そして、長いミーティングを行い、再度挑戦を誓いました。その目標は、春の関東大会、夏のインターハイに出場し、必ず1勝するということです。

その夢に向かって、チーム一丸となって全国で勝つための練習を重ねていきたいと思います。

最後になりますが、我々の全国大会出場にあたって、同窓会の皆様から大変なご厚意を賜りました。心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



会員紹介

◆「ブラスバンドの思い出」◆

か しま ひろし
加 島 広
(昭和44年 3月卒)

昭和40年に入学。たまたま家にあったトランペットを片手にやったこともないブラスバンド部へ入部。

思い出は①怖くて優しい先輩②楽しかった合宿③文化祭でのソロ演奏。④初経験のマーチングバンド。

【高校1年生】

怖くて優しいのは2、3年生の先輩、何かある毎に30分前後の『正座!』でした。

部活動が終わった後に、『楽器を運ぶのが遅かったから正座!』、『なんとなく正座!』……。

3ヶ月程は正座の後の痺れには苦勞したが、慣れてくると痺れがくる前に歩き出せば痺れないことを修得、今ではお葬式や法事の時に役立っている。

合宿は3年間、夏休みに福島沼尻温泉で行いました。

夏休みに入ったら合宿費を工面すべくアルバイト。さらにお米一升を持参しての合宿。

宿の前がスキー場、真夏なのでスキー場は誰もおらず音を出すには絶好の場所で、前歯がぐらつく程練習。

夜は隠し芸大会や肝試しのお墓参り。お墓参りはお墓の一番奥にロウソクとスタンプ台が置いてあり、一人づつスタンプを手に押してくる肝試し。当然、先輩達は脅かし役だが、上級生になり脅かし役もやったが真っ暗の中でひとりぼっち、脅かし役も怖かった。

【高校2年生】

文化祭でのソロ演奏は上手な3年生の先輩もいたが、部長から『お前ヤレ〜』の一言で断ることもできず『茶色の小瓶』のソロ演奏部分を任され、1ヶ月ほど何百回練習した事か…!文化祭ではかなり緊張し下手くそながら何とか演奏。何事も一生懸命進んでやることを教わりました。良い経験でした。

【高校3年生】

体育祭の時に誰かがマーチングバンドをやろうとなり、一番簡単なマーチ(忘れたが)を暗譜し、ステップ、フィール(90度ターン)、スピン(回転)等をオリジナルで考え、夜遅くまで校庭で繰返し行進の練習をしました。

その結果、近所の家から苦情が来たことが思い出されます。体育祭の時は演奏も行進も下手であったと思うが

楽しく充実していたと思う。

そんな先輩方と50年振りにお会いしたのがこの写真。街中で会っても絶対にわからない風貌の同期でビックリ!

3年間の楽しい思い出がよみがえった一時でした。



(ブラスバンドOB会、筆者は最後列の右端)

◆陸上部での経験を生かして◆

うめ き ひで お
梅 木 英 雄
(昭和37年 3月卒)

私は、昭和37年3月の卒業生です。卒業して早55年の歳月が過ぎました。

高校時代は、陸上部に籍を置き、関係各位の協力を得てインターハイ全国大会の800mリレーで大会新で優勝、100mでは第3位の成績を残すことが出来ました。

その後、大学に進学をいたしました。身体をこわし中退をしていた時、恩師の小松先生の紹介で化学メーカー(車用ケミカル商品クリンビュー等)に就職することが出来ました。サラリーマン生活を通じて、北海道～沖縄までを開拓する営業部に配属され、全国制覇に向けての活



(陸上部OBの皆さん、筆者は後列の右端)

動が始まり、部下共々全国各地を廻り実績を作ることが出来ました。激動の拡販キャンペーンを乗り越えて全国区の知名度を得る商品を作ることにも出来ました。(スポーツで鍛えたど根性で全県に商流拠点を数年かけて構築することが出来ました。)

永く東京を離れ地方(北海道・博多・名古屋・仙台等)での生活を経て、55歳の時に関東に戻って参りました。横浜に住まいを築き、久々に目黒高校陸上部と再会することが出来、親睦を図ることが出来ました。OB会を通じて情報交換、親睦会等の機会が有ります。

まだ春遠い3月には、昭和33年卒～昭和38年卒の7名で

親睦ゴルフを行って来ました。

あいにくの天候でしたが、昔話をしながらの楽しい一時でのプレーをし、スコアは二の次で親睦を図ることが出来ました。

定年後に株式会社ピュアコーポレーション(合鍵・靴修理・印鑑作成等)法人を立ち上げ、近隣の皆さまに役立つサービス業を行いながら、健康維持と情報収集の毎日です。

早いもので74歳の年齢を数える高齢者の仲間入りをしています。歴史有る母校を誇りに思いながら、後期高齢全うする気力体力を維持しながら頑張っています。

平成28年度決算報告書

平成28年4月 1日から
平成29年3月31日まで

(収入の部) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
同 窓 会 費	2,747,700	2,747,700	763名分
入 会 金	584,000	584,000	292名分
賛 助 会 費	500,000	594,000	179名分
総 会 会 費	0	0	
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	51,500	61,514	会報掲載広告代及び預金利息
当期収入合計	3,883,200	3,987,214	
前年度繰越金	6,373,949	6,373,949	
収入合計	10,257,149	10,361,163	

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	0	0	
行 事 費	0	0	
通 信 費	0	0	
雑 費	0	0	
会 議 費	241,000	59,055	
役員会費	198,000	50,350	出席者食事代
委員会費	33,000	0	
通 信 費	10,000	8,705	開催通知郵便料
補 助 費	380,000	360,000	
部・同好会補助	350,000	330,000	在校生部活動補助
文化祭補助	30,000	30,000	梧林祭祝い金
事 務 費	400,000	284,336	
人 件 費	300,000	175,000	役員手当
事務消耗品費	20,000	2,440	
交 際 費	60,000	83,104	謝礼、慶弔費
雑 費	20,000	23,792	賛助会費振込手数料
会 報 費	1,818,400	1,704,562	
会報『桐』印刷費	270,000	250,560	14,500部
振込用紙及び印刷費	81,000	75,832	
宛名用紙及び印刷費	129,600	121,503	
封筒・封入作業他	226,800	213,131	
発 送 費	1,110,000	1,043,104	郵便料
雑 費	1,000	432	
奨 学 金	400,000	400,000	在校生奨学金3名分
予 備 費	100,000	553,600	卒業生記念品及び祝い金
当期支出合計	3,339,400	3,361,553	
次年度繰越金	6,917,749	6,999,610	
支出合計	10,257,149	10,361,163	

[特別積立金] (単位:円)

保 管 種 別	本年度末	前年度末
定 期 預 金	7,000,000	7,000,000

平成29年度予算書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

(収入の部) (単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
同 窓 会 費	3,141,900	2,747,700	394,200
入 会 金	692,000	584,000	108,000
賛 助 会 費	500,000	500,000	0
総 会 会 費	0	0	0
寄 付 金	105,000	0	105,000
雑 収 入	51,000	51,500	△ 500
当期収入合計	4,489,900	3,883,200	606,700
前年度繰越金	6,999,610	6,373,949	625,661
収入合計	11,489,510	10,257,149	1,232,361

(支出の部)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
総 会 費	0	0	0
行 事 費	0	0	0
通 信 費	0	0	0
雑 費	0	0	0
会 議 費	244,000	241,000	3,000
役員会費	189,000	198,000	△ 9,000
委員会費	35,000	33,000	2,000
通 信 費	20,000	10,000	10,000
補 助 費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文化祭補助	30,000	30,000	0
事 務 費	425,000	400,000	25,000
人 件 費	300,000	300,000	0
事務消耗品費	10,000	20,000	△ 10,000
交 際 費	90,000	60,000	30,000
雑 費	25,000	20,000	5,000
会 報 費	1,867,600	1,818,400	49,200
会報『桐』印刷費	259,200	270,000	△ 10,800
振込用紙及び印刷費	81,000	81,000	0
宛名用紙及び印刷費	129,600	129,600	0
封筒・封入作業他	226,800	226,800	0
発 送 費	1,170,000	1,110,000	60,000
雑 費	1,000	1,000	0
記 念 品	420,000	0	420,000
奨 学 金	400,000	400,000	0
予 備 費	100,000	100,000	0
当期支出合計	3,836,600	3,339,400	497,200
次年度繰越金	7,652,910	6,917,749	735,161
支出合計	11,489,510	10,257,149	1,232,361

平成28年度決算報告について

当初予算においては、単年度収支で54万円の収入超過を予定して開始されました。収入は予算に対して増加し、支出は予算外で卒業記念品とソフトボール部全国大会出場寄付金を支出したことにより、予算に対して2万円の増加となりました。

この結果、単年度収支で62万円の収入超過となり、次年度への繰越金は699万円となりました。

1. 収入の部

同窓会費、入会金は予算どおりの収受となり、賛助会費は予算比で9万円の増加、雑収入も1万円の増加となりました。

この結果、収入合計では、予算に対して約10万円の増加となりました。

2. 支出の部

予算計上したすべての経常支出大科目において節減努力したが、予

備費において予算外で新たに卒業生に卒業記念品を贈呈することとし、加えてソフトボール部全国大会出場に対する寄付金を支出した結果、予算対比で2万円の増加となりました。

在校生に対する奨学金支出は、予算どおりの40万円を執行しました。

〔会計監査報告〕

私たちは、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。

会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

平成29年4月15日

会計監査 石渡博巳
会計監査 香取芳則

平成29年度予算について

平成29年度収支予算は、平成29年度の事業計画と平成28年度の収支実績とを勘案して編成しました。

1. 収入の部

同窓会費は872名、入会金は346名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は前年の実績を勘案して延べ500口を収納予定として予算計上しました。

寄付金は、前年度支出のソフトボール部への寄付金の一部を、本会役員全員から収受することとして計上しました。

本年度は、総会・懇親会が開催されないことに伴い、総会会費につ

いては、予算未計上となりました。

2. 支出の部

本年度の事業計画は、①同窓会だより「桐」の発行、②在校生の部・同好会に対する補助、③卒業記念品の贈呈、④在校生に対する奨学金支出等が主なものです。

これ以外の経常的運営費については、今回の総会・懇親会開催に備えて極力抑制した予算を編成しました。

この結果、次年度への繰越金は765万円を予定し、単年度収支では65万円の収入超過予算となりました。

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

平成28年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、下記の179名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア 赤羽 昇 秋本 康夫 浅野 進 安達 富夫 荒川 晴紀 有我 洋	★遠藤 靖彦	喜友名朝典	蕭 欣志 白井 貞夫	ト 東郷 東彦 東条論二郎 富樫 良一 徳富 義一	廣木 正和 ★廣沢 隆興 広瀬 和夫	モ 森 一平 森江 一郎
イ 飯田 諭史 飯村 晴夫 五十嵐正宏 井澤 健 石渡 博巳 市川 康憲 ★伊藤 健一 伊藤 雅樹 稲毛 慎一 稲葉 明夫 稲葉 孝司 乾 貞一郎 ★井上 悠 猪瀬 昭男 ★今田 邦雄 岩井 宏樹 岩間 高志	オ 大河原行雄 太田 雄貴 ★大野 芳男 大場 敬介 大瀨 文夫 大森 勝美 大山 靖郎 岡田 真治 奥野 和夫 ★奥野 将英 小澤 幸二 押谷 美和 小野寺 勉 小野寺正志	ク 楠山 信之 栗田幸之助 桑原 徳郎	ス 須賀 義則 杉沼 讓 杉本 法男 鈴木 茂樹 鈴木 茂之 ★鈴木 誠 須田 浩稔 砂賀 隆夫	ナ★永井 賢一 ★中田 喜治 中村 重和 ★中本 太郎 ★縄島 宏司	フ★福田 泰久 藤兼 英夫 藤野 保 藤森 琢磨	ヤ 矢内 敏郎 矢川福太郎 矢口 勝巳 安田 憲二 山口 邦治 ★山下 信 山本 大介 山森 敦
ウ 氏家 正智 内村 正一 梅村 昭一 ★梅木 英雄	カ 鹿島 節夫 柏木 幹也 香取 芳則 神谷 守 川嶋 雅彦 川瀬 年茂 川本 隆夫 ★神田 吉治	コ 小岩井 晃 河野 大樹 小嶋 靖夫 小清水和敏 小宮カズミ 小宮 一秀 小村 良雄 小山 秀典 ★小山 芳和	ソ 外山 昇	ニ★新野 耕一 西村 俊祐 西山友一郎	ホ★星野 一雄 星野 信男 洞口 芳彦	ヨ 吉井 智宏 吉澤 誠 ★吉村多賀志
エ 遠藤 尚之	キ 岸 大將 木全繁太郎 木全 伸隆 北根 益巳 木村 義男	サ 齊藤 康太 齊藤 泰之 五月女進一 坂上 秀雄 ★佐藤 元秀 ★佐藤 義隆 狭山 正則	タ 高野 昌弘 高橋 万博 高橋 弘樹 高橋 弘樹 高橋 初男 滝口 勇 滝澤 国夫 武田 賢治 武田 敬 ★立津 惇平 田中 伸一 田中 廣實 田中 道敏 田中 保雄 谷川 欽一	ネ 根岸 静夫 根城 裕典	マ 舛巴 熙 松本 誠治 丸山 忠雄 ★丸山 治忠 丸山 元吉	ワ★和久井和之 分野 和昭 渡辺 貴大 渡辺 詮光 ★渡辺 美好
ト 弟子丸茂男		シ 志賀 政美 穴戸 優仁 篠崎 実 柴田 治男 嶋田 一成 志村 教俊 下田 和弥	チ 弟子丸茂男	ヒ 土方 国任 ★尾藤 大司 平井 洋 平嶋 和元 平野 啓二	ミ★三浦宏一郎 三神 和夫 三澤 宏延 水柿 隆夫 水谷 清 ★皆川 益雄 宮内 一郎 宮城 勇	ニ 計179名 (内新規納入者30名)

「梧林祭」に行こう！

広報担当 こ ばやし たかし
小 林 隆
 (昭和44年 3月卒)

毎年、秋が近づくと母校の「梧林祭」が気になります。スケジュールが合えば、参加したいと思っており、昨年参加出来ましたので、以下にその一端をご紹介します。

第53回となる「梧林祭」は、2016年10月8日(土)、9日(日)の両日、「TOKYO梧林PIC」のテーマで開催されました。2020年の東京オリンピック招致にかけ、一人一人が自らの課題に挑戦をとの意義を込めたテーマです。

ゲートには、世界各国の国旗が描かれていました。



まず、本館3F、2年生女子が行っているクイズに参加してみました。2問正解、3問目は不正解で残念！

次に覗いてみたのは、4Fの「いなばや」。撮影コーナーで好きなフレームで写真を撮ってもらいました。その後、隣の教室の1年C組の型抜きに挑戦してみました。子どもの頃夢中になった、ピンク色の粉を固めた3cm四方の板に動物等が線で描かれており、その線に沿って針で突いて割らないように型を抜くもので、挑戦むなく失敗でした。でも、昔を思い出させてくれました。ありがとう！

続いて、屋上で弓道体験、5Fで軽音楽の演奏を聞き、記念館では吹奏楽部の聞き応えのある澄んだ演奏を堪能し、心が洗われた思いでした。その後、1Fに下りてウエイト・トレーニング・ルームで体力測定を体験。年のせいかわ20点中、6点でした。

校庭では、「目黒の森」で木をくり抜いた鉢の花を買いました。まだまだ、紹介しきれませんが、昔に戻った気持ちで半日、十分に楽しませていただきました。

同窓生の皆さま、是非、「梧林祭」に足をお運びください。後輩達にとっては、大きな励みとなりきつときつと喜んでいただけます。本年の「梧林祭」は、10月7日(土)、8日(日)の両日です。

◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

松 本 敏 久 (父) 昭和58年3月卒
 裕 大 (子息) 平成29年3月卒
 山 本 哲 也 (父) 昭和54年3月卒
 桂 衣 (息女) 平成29年3月卒
 村 上 恵 一 (父) 昭和62年3月卒
 理 空 (子息) 平成29年3月卒
 山 口 輝 昭 (父) 昭和61年3月卒
 莉 果 (息女) 平成29年3月卒
 和 田 政 彦 (父) 昭和62年3月卒
 海 都 (子息) 平成29年3月卒
 小神野 貴 嗣 (父) 平成3年3月卒
 拓 海 (子息) 平成29年3月卒

平成29年度 同窓会委員会の開催について

平成28年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。

各クラスの委員の方は是非、ご出席ください。

特に、平成27年・28年・29年に卒業された、各クラスの正・副委員の皆さんは、年一回開催の委員会ですので欠席のないよう、お願いいたします。

記

- 日 時 平成29年8月26日(土) 午後2時～
- 場 所 目黒学院高等学校内 会議室
- 議 題 ①今後の同窓会運営について
 〈報告事項〉
 ①平成28年度決算報告の件
 ②平成29年度予算の件

法律相談無料(夜間・土日休日もご対応)

お電話はこちらへ **044(211)4401**

【主な取扱案件】

交通事故被害・後遺症 債権回収・企業法務
 相続手続・遺言書作成 顧問相談 労働問題
 男女問題・離婚 成年後見 刑事事件など

川崎パシフィック法律事務所

代表弁護士 種 村 求 (横浜弁護士会所属)

事務局長 大 川 信 也 (昭和57年卒)

川崎駅から徒歩1分

ホームページ
 メール問合せ

川崎パシフィック 検索
 info@kawasakipacific.com